



平成30年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年5月11日

上場会社名 株式会社 トラスト・テック
 コード番号 2154 URL <http://www.trust-tech.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西田 穰
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 村井 範之
 四半期報告書提出予定日 平成30年5月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-5777-7727

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年6月期第3四半期の連結業績(平成29年7月1日～平成30年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第3四半期	47,466	52.3	3,168	46.2	3,123	46.1	1,690	32.3
29年6月期第3四半期	31,162	39.7	2,167	20.2	2,138	19.1	1,277	18.0

(注) 包括利益 30年6月期第3四半期 1,968百万円 (37.7%) 29年6月期第3四半期 1,429百万円 (32.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年6月期第3四半期	86.07	85.59
29年6月期第3四半期	65.89	65.71

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年6月期第3四半期	26,870	10,805	39.4
29年6月期	16,805	6,697	39.2

(参考) 自己資本 30年6月期第3四半期 10,598百万円 29年6月期 6,594百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年6月期		15.00		30.00	45.00
30年6月期		20.00			
30年6月期(予想)				35.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年6月期の連結業績予想(平成29年7月1日～平成30年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,500	49.9	4,350	35.1	4,350	36.5	2,690	39.8	134.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

連結業績予想の1株当たり当期純利益につきましては、新株予約権の行使による新株発行を考慮し算定しております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年6月期3Q	20,497,600 株	29年6月期	19,433,000 株
期末自己株式数	30年6月期3Q	532 株	29年6月期	493 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年6月期3Q	19,642,629 株	29年6月期3Q	19,397,119 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成29年7月1日～平成30年3月31日）の売上高は47,466百万円（前年同期比52.3%増）となりました。これは主に、技術系領域が引き続き好調に成長したことに加え、第2四半期連結会計期間において、新たに株式を取得した英国の人材派遣会社を傘下に持つ1998 Holdings Limitedの業績が寄与したことによるものです。

利益については、各セグメントでの増収に伴う増益により、営業利益は3,168百万円（前年同期比46.2%増）となりました。経常利益は3,123百万円（前年同期比46.1%増）となりました。

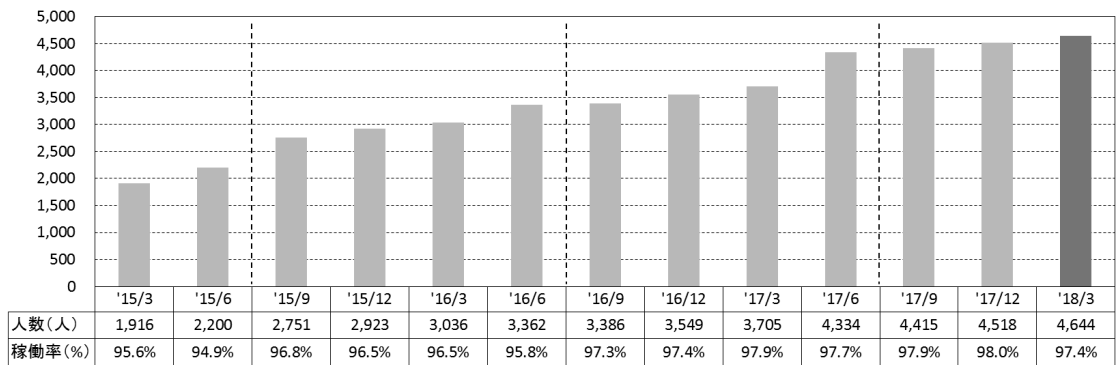
また、当第3四半期連結累計期間において、MTrecの株式譲渡契約の変更に伴う精算金170百万円の特別損失を計上したため、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,690百万円（前年同期比32.3%増）となりました。

セグメント別の業績の概要は、次のとおりです。

[技術系領域]（顧客企業の研究開発、設計、生産技術などの技術分野に対する派遣・請負・委託事業）

好調な輸送用機器や電気機器など当セグメントで比重の高い業種での社員配属が伸長しました。この結果、当セグメントの当第3四半期連結累計期間における売上高は24,418百万円（前年同期比27.5%増）、セグメント利益は2,939百万円（前年同期比47.9%増）となりました。

なお、平成30年3月末時点の当セグメントに従事する社員数は、前期末から310名増加の4,644名となりました。



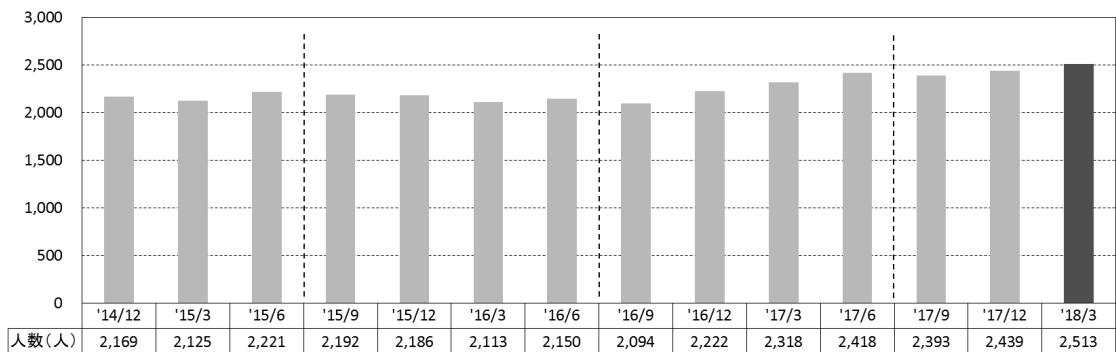
(注) 1 人数：月末技術者数
2 稼働率：月末日における「就業先がある技術者数」÷「技術者数」

[製造系領域]（顧客企業の製造工程等における請負・受託・派遣の事業）

前連結会計年度から引き続き輸送用機器及び機械機器各社からの人材需要が旺盛なことに加え、地元採用を中心とした採用活動の効率化や利益率の高い受注を獲得するなど、利益体質の維持強化を推し進めました。

その結果、当セグメントの当第3四半期連結累計期間における売上高は7,333百万円（前年同期比11.5%増）、セグメント利益は351百万円（前年同期比20.6%増）となりました。

なお、平成30年3月末時点の当セグメントに従業する社員数は、前期末からは95名増加の2,513名となりました。



(注) 1 人数：月末技能社員数
2 当セグメントは有期雇用契約が多数を占めるため稼働率は実質100%です。

[海外領域] (日本国外における技術・製造分野に対する派遣・請負や、有料職業紹介などの人材サービス事業)

当セグメントの当第3四半期連結累計期間における売上高は15,769百万円(前年同期比189.0%増)となりました。これは、主に新たに株式を取得した英国の人材派遣会社を傘下に持つ1998 Holdings Limitedの業績が寄与したことによるものです。利益については、第2四半期連結会計期間においてM&Aに伴うアドバイザー費用等の一時費用を計上したこともあり、セグメント損失は49百万円(前年同期はセグメント損失83百万円)となりました。なお、M&Aの一時費用を除いた場合、セグメント利益は189百万円となります。

[その他]

報告セグメントに含まれない領域として、特例子会社(株式会社トラスト・テック・ウィズ)における障がい者雇用を推進しており、主にグループ間でのフラワーアレンジメント制作物の納品や梱包軽作業などを行っております。

当第3四半期連結累計期間における売上高は47百万円(前年同期比9.3%増)、セグメント損失は94百万円(前年同期はセグメント損失58百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債・純資産

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて10,065百万円増加(59.9%増)し、26,870百万円となりました。主たる変動項目は、平成29年12月に1998 Holdings Limitedを連結子会社化したことなどによるのれんの増加2,123百万円、受取手形及び売掛金の増加4,406百万円のほか、新株予約権の行使に伴う新株発行により現金及び預金が3,053百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて5,956百万円増加(58.9%増)し、16,064百万円となりました。主たる変動項目は、1998 Holdings Limitedの連結子会社化による増加(主に短期借入金2,449百万円、未払消費税等910百万円)、また、同社株式取得のため短期借入金2,000百万円の資金調達を行ったことなどによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて4,108百万円増加(61.3%増)し、10,805百万円となりました。主たる変動項目は、親会社株主に帰属する四半期純利益1,690百万円による増加、新株予約権行使による新株発行で資本金及び資本準備金がそれぞれ1,542百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年11月15日に公表しました業績予想の修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,581,972	7,501,947
受取手形及び売掛金	6,245,524	10,651,979
その他	1,172,198	1,569,672
貸倒引当金	-	△36,395
流動資産合計	11,999,695	19,687,203
固定資産		
有形固定資産	427,970	584,842
無形固定資産		
のれん	3,681,754	5,805,707
その他	163,456	234,151
無形固定資産合計	3,845,211	6,039,859
投資その他の資産	532,187	558,592
固定資産合計	4,805,369	7,183,294
資産合計	16,805,065	26,870,497
負債の部		
流動負債		
短期借入金	1,075,934	4,499,217
1年内償還予定の社債	196,000	196,000
1年内返済予定の長期借入金	300,000	300,000
未払費用	3,031,668	2,878,198
未払法人税等	812,290	732,712
未払消費税等	742,448	1,710,852
賞与引当金	600,943	1,539,323
その他	882,047	2,139,915
流動負債合計	7,641,333	13,996,221
固定負債		
社債	1,106,000	910,000
長期借入金	1,200,000	900,000
退職給付に係る負債	44,628	46,325
その他	116,021	212,426
固定負債合計	2,466,649	2,068,751
負債合計	10,107,983	16,064,973
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,562,705	3,105,037
資本剰余金	720,190	2,262,522
利益剰余金	4,238,432	4,951,510
自己株式	△569	△690
株主資本合計	6,520,758	10,318,381
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	148	604
為替換算調整勘定	73,917	279,475
その他の包括利益累計額合計	74,065	280,079
新株予約権	4,028	24,149
非支配株主持分	98,230	182,914
純資産合計	6,697,082	10,805,524
負債純資産合計	16,805,065	26,870,497

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成30年3月31日)
売上高	31,162,726	47,466,882
売上原価	24,408,204	37,746,274
売上総利益	6,754,522	9,720,607
販売費及び一般管理費	4,587,455	6,552,600
営業利益	2,167,066	3,168,007
営業外収益		
受取利息	233	244
助成金収入	15,004	40,017
その他	1,732	4,593
営業外収益合計	16,970	44,856
営業外費用		
支払利息	18,128	60,136
社債発行費	20,083	-
為替差損	2,625	6,297
持分法による投資損失	4,529	976
その他	207	21,844
営業外費用合計	45,575	89,254
経常利益	2,138,461	3,123,609
特別利益		
固定資産売却益	179	722
新株予約権戻入益	190	11
投資有価証券売却益	-	1,853
特別利益合計	369	2,586
特別損失		
固定資産除却損	6,033	4,148
契約変更に伴う精算金	-	170,643
特別損失合計	6,033	174,792
税金等調整前四半期純利益	2,132,797	2,951,403
法人税、住民税及び事業税	816,858	1,233,902
法人税等調整額	10,767	△34,228
法人税等合計	827,625	1,199,673
四半期純利益	1,305,172	1,751,729
非支配株主に帰属する四半期純利益	27,179	61,177
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,277,993	1,690,551

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成29年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年7月1日 至 平成30年3月31日)
四半期純利益	1,305,172	1,751,729
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	495	456
為替換算調整勘定	122,940	215,715
持分法適用会社に対する持分相当額	835	964
その他の包括利益合計	124,270	217,135
四半期包括利益	1,429,443	1,968,865
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,410,689	1,896,565
非支配株主に係る四半期包括利益	18,753	72,299

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、新株予約権の行使に伴い新株の発行を行っております。この結果、当第3四半期連結累計期間において、資本金及び資本準備金がそれぞれ1,542,332千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が3,105,037千円、資本準備金が2,095,037千円となっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間より、托斯蒂客(上海)人才咨询有限公司を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

また第2四半期連結会計期間より、1998 Holdings Limitedの株式を取得したため、同社子会社Gap Personnel Holdings Limited、Kerr Recruitment Limited、Atkinson Page Limited、Gap Technical Limited、Gap Personnel Group sp. z. o. o. を含めた6社を連結の範囲に、同社関連会社Kickstart2Employment Limitedを持分法適用の範囲に含めております。

当第3四半期連結会計期間においては、広州点米信科人力资源有限公司を合弁会社として新たに設立したため、持分法適用の範囲に含めております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年7月1日 至 平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	技術系領域	製造系領域	海外領域	計				
売上高								
外部顧客への売上高	19,158,450	6,549,967	5,448,882	31,157,299	5,426	31,162,726	-	31,162,726
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	-	25,575	7,029	32,604	38,234	70,839	△70,839	-
計	19,158,450	6,575,542	5,455,912	31,189,904	43,660	31,233,565	△70,839	31,162,726
セグメント利益又は 損失(△)	1,987,423	291,787	△83,813	2,195,397	△58,031	2,137,366	29,700	2,167,066

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、障がい者雇用促進事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結会計期間において、「技術系領域」でのれんが862,376千円増加しております。これは、株式会社フュージョンアイの株式取得による増加であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年7月1日 至 平成30年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	技術系領域	製造系領域	海外領域	計				
売上高								
外部顧客への売上高	24,418,354	7,278,235	15,766,639	47,463,229	3,652	47,466,882	-	47,466,882
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	-	55,340	3,022	58,362	44,050	102,413	△102,413	-
計	24,418,354	7,333,575	15,769,661	47,521,592	47,703	47,569,296	△102,413	47,466,882
セグメント利益又は 損失(△)	2,939,301	351,839	△49,777	3,241,363	△94,056	3,147,307	20,700	3,168,007

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、障がい者雇用促進事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第2四半期連結会計期間において、1998 Holdings Limitedの株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間末の「海外領域」の資産の金額が7,291,460千円増加しております。